

パモジャ PAMOJA



第36号
青年海外協力隊 巢守 世那
2026年 7月7日発行

アフリカ大陸最高峰

キリマンジャロ

「タンザニアにいうちにできることはやりたい!」と思い、アフリカ大陸最高峰「キリマンジャロ山」に登ってきました!

日本で富士山も登ったこともない山登り初心者の私が登れるのか初めは躊躇していたのですが、先輩隊員の話やネットにも初心者でも登りやすい山とあったのでチャレンジすることにしました。結果、本当に大変でつらかったです。でも、それ以上に、見たことのない美しく壮大な景色を見ることができ、15時間歩き続けるという今後もうないであろう経験をする事ができて、キリマンジャロに登ってよかった!と心から思っています。4700メートル地点から高山病に悩まされ、頭痛と吐き気に襲われ何も考えられない!辛すぎる…。それなのにまだ着かない…。と体も心も限界でしたが、ガイドと一緒に登った仲間たちに励まされながら、なんとかゲルマーズポイントという5681mの地点まで行くことができました。(頂上はウフルピークの5895m)

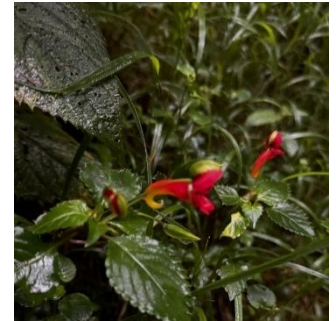
アタックの日に見た一面に輝く星々、雲海から顔を出してくる朝陽はこれまで頑張ってきたご褒美かなと思えるくらい綺麗でした。キリマンジャロの景色を私の思い出話とともに紹介したいと思います。(長くなりますがお付き合いください。)



登る前:みんな元気!この顔が…

熱帯雨林帯 約1800m~3000m

登山口から歩き始めると、森が広がっていました。「まるでジブリの世界だ〜。」とわくわくしながら登って行きました。



エレファント・トランク・フラワー
(象の鼻の花)
キリマンジャロにしか自生していない花で、象の鼻のようにくるとカーブしていてかわいい!



泊まった山小屋
どの山小屋もきれいでした!

シェフと一緒に山登りしているので、毎日おいしいご飯を作ってくれます。

朝ごはん→



夜ご飯には、なんと!
からあげみたいなお肉が出て、一気に元気に!

山小屋につくと、桶にお湯を用意してくれるのでそのお湯で顔を洗うことができました。冷えた体に染みわたる恵みのお湯でした。また、毎日朝と夜に血中酸素(SpO2)を図るのですが、2日目から88%まで下がり、心臓がずっとどくどくと(思いっきり走った後のかんじ)っていました。寝るときも心臓の音が聞こえてなかなか寝付けませんでした。

